

混沌とした中から

仮想サーバ (1)

サーバのOS (ネットワークOSともいいますが) として今までいろいろなものがありました。初期の頃のパソコンはもちろん繋いで使おうということはありませんでした。設計思想としてはパーソナルなコンピュータですから、ネットワークというのはあまり考慮されていませんでした。この点Unixは元々がネットワークありき (コンピュータ内、コンピュータ間の両方がネットワークとなります) で作られたものとの違いです。OSもMS-DOSの次に1987年に発売されたのがMSとIBMの共同開発になるOS/2 1.0ですが、先進的な技術を速く取り入れすぎたのかOSとしては普及しませんでした (正直非常に重たいOSで、その頃のマシンスペックではなかなか使えるものではありませんでした)。そのOS/2で動作するネットワークOSがMSとLANカードなどのメーカーであった3Comとの共同開発になる「LanManager」です。その前にMSはMS-DOSにネットワーク環境に対応するものとしてMS-Networkを機能としてMS-DOS3.0に組み込んでいましたが、LanManagerはOS/2で起動するLanManagerサーバとMS-DOSなどのクライアント側で動作するLanManagerクライアントで構成されていたものです。サーバのOSがOS/2でそれほど使い勝手が良くなかったためか初めの頃LanManagerは普及せず、1980年代後半から1990年代にかけて一世を風靡したのがNetWareです。NetWareは専用のネットワークOSで、90年代初めのほとんどのサーバがNetWareではなかったかともいえます。個人的にNetWareに触れたのは1990年ごろで、その頃はNetWare286と呼ばれたCPU80286対応のものでした。その頃もいろいろ苦労したのですがNetWareの話はさておいて、NetWareが日本に普及したのはその後のNetWare286やNetWare3.0からです。そういえばいろいろ調べてわかったのですが、日本で初めにNetWareを採用したのはMulti-16で三菱の京都製作所が1986年だったようです。もうひとつついでに、NetWareが急速に普及を始めた頃もうひとつのネットワークOSとして「BanyanVines」というものもありました。これはUNIXを基本としたものだったので、ユーザの要求によってLANボードのメーカーなどと打ち合わせをした覚えがあります (ネットワークOSとしてはいろいろ特徴があったらしいのですが、MSのような力も無く消えていったようです)。

その後登場したのがWindowsNTです。登場は1994年で、LanManagerとWindows (その頃はWindows3.1ですが) の機能を併せ持ったそれまでの16ビット対応のOSではなく32ビット対応のOSです。このOSでネットワーク市場で挽回を図ったMSですが、その結果は今現在を見る限りあれほどのシェアを持っていたNetWareがほとんど見られないことからわかるかもしれません。その後に登場したのがWindowsNT4.0で次がWindows2000、Windows2003と続いています。現在はその次の開発コード「Longhorn」が開発されているところです (このLonghornですが、クライアント用のOSとして開発されていたLonghornはVistaになりました)。

MSはいろいろなOS (ネットワークOSを含む) をスケジュールを作って出荷しています (このごろスケジュール通りになっていないことが多いですが)。そのためクライアントやサーバなど複数のものが市場に存在することになります。また、MSはいつまでもサポートを継続するわけではなく、しばらくするとサポートを終了し、その後はよほどのことがない限り修正パッチすら出荷しないということになっています。

(次回に続く)

(今週の情報誌から)

○日経エレクトロニクス 4月9日号

特集 電機 勝利の方程式

→これまでいろいろなところに手を広げ、総合電機メーカーとして進んできた日本の電機メーカーがすでにターニングポイントを迎えている。ソニーが携帯電話で外資企業と業務提携し、連結70社を超える子会社を持つ日本ビクターが外資投資ファンドの支配下に入ろうとしている。今なら間に合う電機新生。事情再編を進めなければ「穏やかな衰退」が待っている。

○日経パソコン 4月9日号

特集 パソコンどこでもテレビ

→パソコンを中心に見たい番組があるとき外出していたらどうするか。今はいろいろな解決方法がある。まずは録画した番組を持ち歩く方法。これはパソコンだけではなく携帯電話でも可能。後簡単に思いつくのが流行のワンセグ。USB接続のものであれば簡単にみることができる。そのほかに方法は無いかな。ワンセグ対応ではないけれどもインターネットに接続できるパソコンということであれば、ネットワーク配信機能付テレビチューナーという方法がある。これは、自宅のネットワーク(もちろんインターネットに接続できる)にネットワーク配信機能つきテレビチューナーを接続する。これで外からインターネット経由で自宅のテレビを見ることができる。チャンネルを変えることもできるし、AV機器を操作することもできる。知り合いに頼めば見えない地方のテレビを見ようとする話が始まっている)。